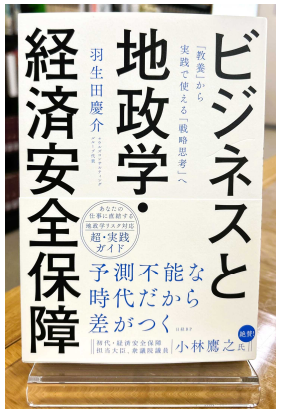
議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R７年８月(一般用)

『ビジネスと地政学・経済安全保障 ～「教養」から実践で使える「戦略思考」へ』

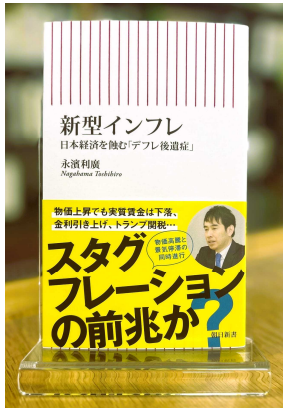
羽生田 慶介【著】/日経BP (2025/3)



世界情勢の変化に伴い、米国などによる経済への政治介入が始まりつつある。リスクに対応するために、ビジネスパーソンが押さえるべき、地政学・経済安全保障リスクとは何か？ ピンチをチャンスに変える実践ノウハウを学ぶ。

『新型インフレ ～日本経済を蝕む「デフレ後遺症」』

永濱 利廣【著】/朝日新聞出版 (2025/5)



個人消費は停滞しているのに、物価上昇が止まらない。実質賃金は上がらないのに、金利は上がる。この「新しいインフレ」は、なぜ日本だけで起きているのか？ この先デフレに逆戻りするのか？ 話題のエコノミストが分析する。

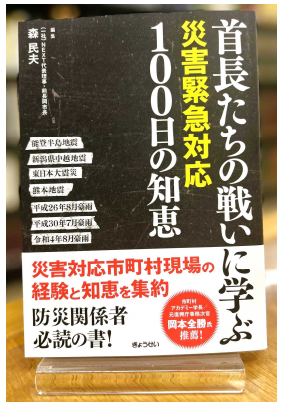
『「稼ぐ小国」の戦略～世界で沈む日本が成功した６つの国に学べること』

関山 健･鹿島平和研究所【編著】/光文社 (2025/5)

小国にも関わらず、ルクセンブルク、アイルランド、スイス、シンガポール、アイスランド、デンマークは、「一人あたりGDPランキング(2023年度IMF統計)」で世界トップ10にランクイン。高い生産性･競争力を実現できる成長戦略とは？

『首長たちの戦いに学ぶ災害緊急対応100日の知恵』

森 民夫【編】/ぎょうせい (2025/4)



大災害と戦った首長たちの発災初期のリアルな体験談を収録。７つの大規模災害において、最前線で災害対応にあたった13人の現役首長をはじめ、国や関係団体、民間企業、NPO等による支援など、関係者の経験と知恵を集約！

『スマホはどこへ向かうのか？～41の視点で読み解くスマホの現在と未来』

西田 宗千佳【著】/講談社 (2025/5)

スマホの登場で、人類史上前例のないライフスタイルへの革新がもたらされ、社会そのものが変化した。「スマホという産業」と「スマホが世界にもたらしたもの」、そして「スマホの次に来るもの」について、41のテーマから分析する。

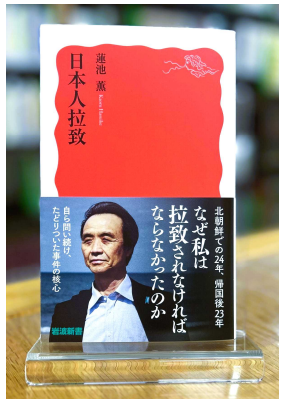
『福祉施設からはじまる 多世代ごちゃまぜ地域共生社会』

権堂 喜美恵【著】/幻冬舎メディアコンサルティング (2024/12)

著者が理事長を務める社会福祉法人による、多世代コミュニティカフェの運営、老人ホームでの学生同居プロジェクトなど、福祉施設を拠点とした地域共生社会の新しいモデルを紹介。これからの地域福祉のための１冊！

『日本人拉致』

蓮池 薫【著】/岩波出版 (2025/5)



私はなぜ拉致されたのか。
「マインドコントロール」「革命教育」の現実とは。
国家に生を翻弄された当事者自らが、未解決事件の本質を描く。重層的な人権問題として拉致を捉えなおす決定版。

『僕たちのサードプレイス ～学校のなかに「居場所」をつくる』

宮田 貴子【著 】/藤原書店 (2025/3)

ベッド、段ボールハウスがある教室。
「ここなら大丈夫。明日も来られる。」
教室に入れない子どもの「からだとこころ」に向き合ってきた教室「たんぽぽ」。
安心して“自分”でいられる「居場所」づくりの足跡を探る。

☑ 本のタイトルには、出版社の本の紹介のリンクが貼ってあります。出版社での紹介がないものは貼っていません。

▶特別委員会シリーズ①「防災・減災・治安」 に関する書籍

新 着

『2040年の防災ＤＸ』

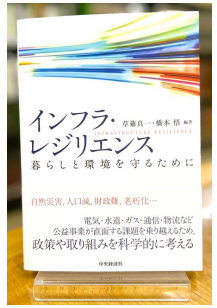
村上 建治郎【著】/講談社 (2025/1)

置いていかれるな！
2040年、日本の防災はここまで進化する！
2040年の防災の未来像と最新の防災技術、それに関わる防災の受け入れの問題点を徹底的に解説する。

新 着

『インフラ・レジリエンス ～暮らしと環境を守るために』

草薙 真一・橋本 悟【編著】/中央経済社 (2025/5)

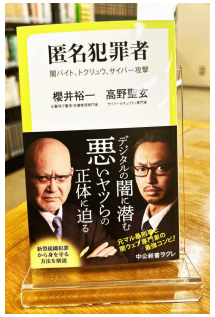


多発する自然災害、老朽化や財政難、人口減による整備不足等、課題を多く抱える日本のインフラ。
電気・水道・ガス・交通等公益事業の防災・減災・復興の取り組みと展望を解説。

新 着

『匿名犯罪者 ～闇バイト、トクリュウ、サイバー攻撃』

櫻井 裕一・高野 聖玄【著】/中央公論新社 (2025/3)

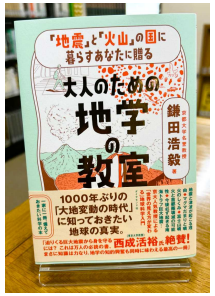


近年、増加しているデジタルツールを駆使した犯罪。本書は、組織構造、構成員、背景、国籍など謎に包まれた最新型犯罪集団の実態を解明。闇バイト、サイバー犯罪などの新しい脅威に巻き込まれないための具体的な対策を解説する。

新 着

『「地震」と「火山」の国に暮らすあなたに贈る 大人のための地学の教室』

鎌田 浩毅 【著】/ダイヤモンド社 (2025/2)



東日本大震災によって、日本列島は地震や噴火が頻発する「大地変動の時代」に入った。
京都大学名誉教授の著者が、授業スタイルの語り口で、地学のエッセンスと生き延びるための知識を明快に伝える。

図書広報委員がおすすめする一冊

『改訂版　本当の自由を手に入れるお金の大学』

著者：両＠リベ大学長/朝日新聞出版
（2024年11月）

紹介者：中島　豪 委員
自由民主党・高崎市選出・１期

物価高や将来への不安が広がる中、金融リテラシーの向上は重要な課題です。群馬県の幸福度指標でも「家計の状況」は第3位に位置づけられ、生活・仕事・老後にわたる不安の軽減に直結しています。

私はこのテーマを県議会定例会での一般質問で2度取り上げ、家計管理や経済的自立に向けた支援の必要性を訴えてきました。 改訂版『お金の大学』は、新NISAなどに対応し、累計190万部を突破。YouTubeも登録者285万人・再生8.9億回と注目を集めています。

生活基盤を支える一冊として、ぜひ一度手に取っていただきたいと思います。

次号では、清水　大樹 委員におすすめしていただきます！

議会事務局政策広報課（議会図書室）